



テーマ:地域活性化・地域社会への貢献～地域の社会的課題解決～/三重県環境整備事業協同組合(三重県)

## ●伊勢湾の再生に向けて! 組合で取り組むCSR活動

URL

<http://www.sankankyoku.or.jp/>

### ■背景と目的

伊勢湾の再生に向け行政機関が行動計画を策定したことを契機に、組合及び組合員企業においても「伊勢湾の再生」という社会的課題の解決に取り組んでいくこととなった。企業のCSR活動が求められる時代であり、また、活動を通じて組合員の意識改革や対話力の向上、さらには関係機関への情報発信・共有も図っていくことを目的としている。

### ■事業・活動の内容と手法

「伊勢湾の再生」に向けて行政機関の情報やデータを参考にだけでなく、自分たちの手で調査・情報収集等を行い、その結果を発信して、伊勢湾に関係するステークホルダーの活動支援・啓発につなげていくため、平成24～25年度の2か年事業として「伊勢湾における貧・無酸素水塊の要因解明調査」を実施するとともに、平成24年度から講演会・パネルディスカッションを開催し、「伊勢湾の再生」に取り組む組合員及び県・市町等の関係者の意識の醸成及び情報発信・共有を図った。

さらに、平成28年度には伊勢志摩サミット開催前に、「伊勢湾の再生」に向けて取り組んできた活動

を拡大させ、西日本の閉鎖性海域における諸問題について協議するため「西日本閉鎖性海域連携サミット」を開催し、行政機関、教育機関、環境保全活動団体等の参加を得て、広範囲なエリアで組合員のネットワーク拡大、情報発信・共有化を図った。

「伊勢湾の再生」に関する活動は、総務委員会が理事長からの指示・提案等に基づき具体的な内容を協議・企画し、理事会に諮って実施している。講演会やパネルディスカッション・サミット等の開催にあたっては、他の組合員の参画を得て運営チームを組織し、対応した。活動資金については、組合員の理解度や運営状況に応じて拠出してもらった協賛金として徴収することとした。

### ■成果

調査・研究を実施し、独自にデータを収集・分析したこと、継続的に講演会やパネルディスカッションを開催し、組合員の意識向上や情報発信力が高まったこと、活動の幅を広げ「西日本閉鎖性海域連携サミット」を開催したことにより、組合の存在感、組合員のCSR活動等への理解度、行政機関担当者との情報共有や対話力が向上したことなどが挙げられる。



## 中小機構中部からのお知らせ

### 経営の困り事、 一緒に解決方法を探します = 中小機構中部の経営相談窓口(無料) =

中小機構中部では、経営課題解決のために何度でも無料でご利用いただけるご相談窓口を設置し、土業のアドバイザーや、業界の経験豊富な専門家がご相談に応じています。

会社の中だけでは解決できない課題に直面した時、更なる成長を考えた時、第三者からの助言が次の一手のヒントになることがあります。アドバイザーが傾聴し、現状を整理することで、見えなかった課題が引き出されることもあります。

是非お気軽にご利用ください。



・ 中小企業診断士 ・ 弁護士 ・ 公認会計士  
・ 税理士 ・ 弁理士 ・ 社会保険労務士  
・ 技術士 ・ 企業実務経験者  
などのエキスパートがご相談に応じます。

**【お問い合わせ・お申込み先】** 経営相談は事前のご予約をお願いしています。アドバイザーの空き状況やご不明な点などお問い合わせはお気軽に 中小機構中部 経営相談担当 ☎052-220-0516 までどうぞ。